

インディードゥアイガン ຍິນດີຕ້ອນទັບ

...so that may be glad together. (John 3:16)

YD は、タイ語で「ともに喜びのため」を意味する単語の頭文字です
タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD ミニストリー ニュースレター # 12

2021年 2月号



……必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。
イザヤ書 43:19

コロナ禍においても変わることなく祈り支えてくださる皆さまに感謝しつつ、主の御手の守りと祝福をお祈りいたします。チェンマイでの4年目の歩みに入っております。長らく市中感染から守られてきたタイでしたが、昨年末から市中感染が始まり、規制も強化。教会も1月はオンライン礼拝を余儀なくされました。刑務所や高齢者施設の面会禁止は2月も継続しそうです。しかし、チェンマイの感染状況は落ち着き、2月から会堂での礼拝と牧師館での日本語教室を再開できそうです。そして、お祈りいただいておりますバリアフリーの会堂への道が開かれています。

昨年末は11月と12月にチェンマイ在住日本人の方が亡くなりました。御一方は教会の交わりから遠ざかっておられましたが、ここ数年、礼拝に集い始めておられた60代のクリスチャン夫妻のご主人。もう御一方は、奥さまが求道を始めておられた80代の男性です。どちらもご夫妻のご意思で一切の延命はされず、それぞれ病院とご自宅で看取られました。クリスチャン男性はご病気が見つかる同時の余命宣告から3ヶ月でのご召天でした。お気持ちの整理に時間がかかりましたが、最期に病室で讃美歌をリクエストされ、みことばと祈りをともにして送ることができました。小さなご葬儀には、教会の方に加え、闘病を支えてくださったタイ人の方も参列され、ともに御国を仰ぐことができました。求道者の方のご主人が体調を崩しておられることがわかったのは、昨年末に会堂候補地としてご紹介があった物件が、彼らの住む住宅地の中にあっただけでした。彼女は日本語よりも英語が理解しやすい、とのことでインターナショナルチャーチでの求道に移られ、つながりは折々のメールのやり取りにとどまっていた。この物件は、教会内に一波乱を巻き起こすことになり、選択できなかったのですが、彼女を訪問する機会と、ご主人の病状を知り、祈る機会へと導かれました。クリスマスに訪問しようと備えていたところ、前日の看取り

を訪問時に知ることとなってしまいました。それでも、インターナショナルチャーチの方々の祈りの中に置かれていたこともうかがい、感謝したことです。彼女たちは引き続きチェンマイですごされます。主の慰めと救いが教会をとおして届くよう祈られます。そして、歳を重ねても病を得ても集い続けられる会堂への祈りが、一層増し加えられたことです。

新しく会堂として導かれている物件は、かつてタイの文書伝道を支えた施設で、10年前に従来の働きを終え、倉庫として管理されていた建物です。現在の会堂からも近く、落ちついた環境で、何より車椅子でも集えるようになることが大きな恵みです。これから諸手続きとなりますが、新たなたましいの救いにつながる一歩とされますよう祈ります。足掛け3年の会堂探しを祈りをもって支えてくださった皆さまに心から感謝いたします。



教会員がプールで遭遇したタイ人青年の洗礼式



車椅子でも集える会堂を

< 祈禱課題 >

- ・面会禁止が3ヶ月目に入る刑務所の方々、面会制限が続く高齢者施設入居者、看取り後の方々の心身・霊肉が守られ、交わりが深められるように
- ・長期にわたる規制や乾季の深刻な大気汚染による心身の不調や経済危機に希望を失いかけている多くの方々に必要な支援と福音が届くように
- ・日本語教会が在住者の救いと霊的成長のために聖め用いられ、会堂移転のための諸手続きも御霊の一致のうちに守られるように

< 支援窓口 >

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230

支援会お問合せ先 shimoyamada@mishimagrace.com

電話 Fax 055-989-7802

ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)
日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886
(事務所宛の献金は「長谷部愛実への指定献金」とご明記ください)